

イベント及びワークショップ会場

香蘭社

有田町幸平1-3-8
※毎週日曜日開催



11/1日

オープニング
トークイベント
〈メディアアートと有田〉
14:00~14:30



石多未知行 (メディアアートライオン有田 PMAJ代表理事)
中村隆敏 (佐賀大学文化教育学部 教授)

11/8日

〈デジタル装置をつくる〉
- Rikafan / (理科ファン)



使用予定の「ハマ」

・1回目:11:00~・2回目:13:00~・3回目:15:00~ [定員各20名]
身の回りにあるモノやコトを理科目線で伝える情報発信するメディア「理科ファン」によるワークショップ。今回は有田焼に使う道具やハマを使って、ゴールになる場所にボールを運ぶデジタル装置をつくるワークショップを行います。

11/15日

〈スマートフォンとレンズで作る！
手作りプロジェクター制作〉
- こねくり家 技術部 (EWMファクトリー)



・1回目:11:00~・2回目:13:00~・3回目:15:00~ [定員各20名]
佐賀市内でもづくりカフェを営む「こねくり家」の技術部によるプロジェクターの制作ワークショップを行います。お手持ちのスマートフォンの画面に写っている映像を、紙や壁物に映像を写すことにより、みんなでお楽しみことができます。また、作ったプロジェクターは、そのまま持ち帰りいただけます。※参加にはスマートフォン・音楽プレイヤー等の画面を表示する携帯端末が必要です。

11/22日

〈iPadを使ってオリジナルの
ゲームを作ろう！〉
- しくみデザイン



・時間14:00~2時間を想定
[定員10名]
昨年のメディアアートライオンにトークショーに登壇頂いた「しくみデザイン」による、絵を描いて、動きや特徴をつけていくだけで簡単にオリジナルのゲームが作れちゃう、最新のアプリをつかったワークショップです。

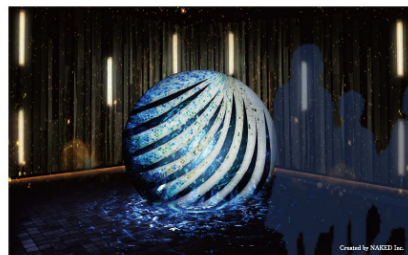
アルセッド
建築研究所

有田町幸平2-2-23
時間/9:00~17:00
※展示休:月曜日(祝日除く)



〈Kaleido by NAKED ~有田焼万華灯~〉
- ネイキッド

東京駅、お台場ガンダム立像、東京タワーなど、話題を呼んだプロジェクションマッピングを手がけてきたNAKED Inc.が送る新しいアートワーク。磁器の特性でもある「光の透過」にスポットをあて、光と有田焼を融合させた作品。磁器の中に感じる万華鏡をテーマに、有田焼の光を通して絶え間なく形を変えていく万華鏡の世界を会場内に散りばめます。また、光の透過だけでなく、光の反射を活かした作品も展示し、メインの作品としては、有田焼の釉薬を利用した巨大ホログラムオブジェを展示。光り輝く球体オブジェの中には、有機的に動く美しい万華鏡の造形物が浮かび上がります。今回の作品を通して、創業400周年を迎えようとしている有田焼に新たな価値が生れてくれることを願っています。



深川製菓本店

有田町幸平1-1-8
時間/9:00~17:00
※展示休:月曜日(祝日除く)



Media Butterfly in Arita
2nd season
Information Map 入場無料



手塚商店

有田町大博1-2-2
時間/9:00~17:00
※展示休:月曜日(祝日除く)



1階

〈KAGURA〉〈paintone〉
- しくみデザイン

「何も触れずに、音楽を奏でる。」人の動きを解析して音楽を創り出す特許取得技術により、何も持たず、何も触れず、自由に身体を動かすだけで演奏する楽器「KAGURA」の展示。



「音の鳴る絵。」指や声をつけて誰でも簡単に音の鳴る絵を作ることのできる世界に一つの魔法のツール「paintone」の展示。



1階

〈東京駅・武雄温泉楼門/キャンバス・プロジェクションで望む2つの辰野建築〉
- ヤマガタユキヒロ



武雄温泉楼門の復元(制作),2015

鉛筆などで精細に描き込んだ画面の上に、刻々と変化する空のうつろいや行き交う人々などをプロジェクション投影することで、変わらない風景と刻々と変わりゆく光景をひとつの画面に同居させる作品を制作するヤマガタユキヒロ。昨年に続く出展となる本年は、佐賀でのリサーチを経て、新作「武雄温泉楼門の眺望(仮)」を発表し、東京駅や日本銀行本店など数多くの建築作品を残しました。数ある辰野建築の中でも和風の優品として知られる武雄温泉の楼門は築100年を迎え、今でも武雄温泉のランドマークとして多くの人々を出迎えています。本展では武雄温泉楼門と東京駅という辰野建築を描いた2つの作品を主に展示。辰野が「手掛けた2つの建築がここ有田で出会います。」

〈企画協力〉 芸術発信センター

1階

〈スタンプラリー〉
期間中、有田会場、武雄会場、渡佐見会場の各会場をめぐるスタンプラリーを実施します。各会場に設置してあるスタンプを集め、各会場のBOXに投函すると抽選で素敵なプレゼントが当たります。

1階

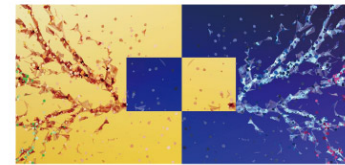
〈Kidsマーク〉
ワークショップや体験できるインタラクティブ作品など、子どもから大人まで年齢を問わず楽しめるコンテンツです。

MAPには会場の他にカフェやレストラン、雑居ビルなどを「★」で表記しています。アートを楽しみながら、有田のいろいろな魅力を発見してみてください。

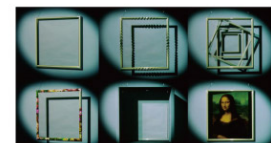
2階

〈Re×裏〉〈GAKUBUCHI 2〉
- Projection Mapping Association of Japan

人は空間を認識する際に全てを見てはいません。ある整理された情報、点、線、面を結ぶことで空間の広さや動きを知覚しています。日本には障子や襖、屏風などを用いることで空間を「閉」て時には「開」く機能を持ったシステムを持っています。空間に配されたパネルが別次元への入口や扉になる新作「Re×裏」です。そして「GAKUBUCHI 2」は観劇という四角い枠をもって別次元を出現させます。四角いフレームによって内外の空間が隔たられ、別空間が共存する不思議な作品です。空間をコントロールする媒体にデジタル表現や映像による拡張性を付した2作品を今回展示します。



Re×裏



GAKUBUCHI 2

イベント会場

泉山磁石場

11/21土・11/22日 18:00~20:00



〈有田「ヒカリのラクガキ」プロジェクションマッピング〉
- AMP×PMAJ×佐賀の子供達

泉山は有田焼の磁器を作るために使われる磁石(粘土)の採石場だった跡地で、有田400年の歴史の聖地とも言える場所です。その広大な空間に残された巨大な磁石の岩壁面へ有田町の大規模なプロジェクションマッピングを行います。その映像には子供達の絵が約170点描き出され、400年の歴史を経て、次の未来を感じるひとときとなるはずです。プロのCGクリエイターの映像と子供達の作品との共演をお楽しみ下さい。

〈企画協力〉 Arita Media Project (AMP), Projection Mapping Association of Japan (PMAJ)

有田町内イベント



佐賀県立九州陶磁文化館
特別企画展 有田焼創業400年事業
明治有田 超絶の美 一万国博覧会の時代

明治時代に作られ、世界各国の万国博覧会で人気を博した有田焼の逸品や、初公開となるそれらの傑作などを展示し、明治有田の磁器の魅力を紹介します。

【日時】平成27年10月16日(金)~12月6日(日)
午前9時~午後5時(入館は閉館の30分前まで)
※月曜日休館(11月22日、23日は開館)
【場所】佐賀県立九州陶磁文化館
【入館料】大人600円(500円)、大学生300円(200円)
※ 20名以上の団体料金
【問い合わせ】佐賀県立九州陶磁文化館 0955-43-3661

食と器でおもてなし
第11回 秋の有田陶磁器まつり

やきもの里・有田。春の「有田陶器市」に続き、秋も「有田陶磁器まつり」で賑わいます。「食と器でおもてなし」をテーマに多様なイベントが行われます。
【日時】平成27年11月15日(日)~23日(月・祝)
【場所】有田町内各所
【問い合わせ】有田観光協会 0955-43-2121

